

評価シート個票（案）

基本目標	1	新たな魅力で経済を好循環に導く
基本方針	2	未来を導く創業・イノベーションの創出
基本施策	2-1	創業支援の強化
		○ 支援策や専門家等の紹介にワンストップで対応する総合案内機能（相談窓口）を強化し、創業を目指す人々のニーズやフェーズに即した総合的な支援体制を構築します。 ○ 地元企業のイノベーションの喚起・誘導を始め、地域におけるイノベティブ人材・クリエイティブ人材の発掘・育成を図ります。 ○ 市中心部等で行われる様々なプロジェクト等と連携し、空き店舗等未利用不動産を活用した創業の取組を推進・支援します。 ○ 事業者の更なる成長と経営安定化を目指して、商工会議所、金融機関、大学等と連携し、各機関が実施する取組の情報共有や、支援機関と事業者との関係構築支援を行います。

施策指標（基本施策の達成状況を測る指標）

施策指標			R 3 (策定年度)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8 (目標年度)	R 4～R 8
創業支援件数 特定創業証明書発行件数 (国認定の創業支援等事業計画に位置付けた『特定創業支援等事業』を受けた者に対する証明書の発行件数)	(計画)	件		10	10	10	新・産業ビジョン岸和田から抜粋		40
	(実績)	件	10	13					0
	(達成率)	%		130	0	0	0	0	0

主な事業及び事業指標

主な事業	事業指標	R 3 (策定年度)	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8 (目標年度)	R 4～R 8
岸和田創業支援ネットワーク 会議による、金融機関、商工会議所等との連携	連携機関数	7	7	○ビジョンで設定した「基本施策」の達成状況や効果を測るため、基本施策ごとに1～2つ程度の施策指標を設定。「効果測定のため」という趣旨から、基本的に活動指標（アウトプット）ではなく成果指標（アウトカム）を採用する。 ○原則、基本施策の内容に基づき実施する各事業の効果を総合的に測る指標を施策指標として設定。ただし、施策内容が多岐にわたる等の理由により（例：「3-1 経営支援体制の充実」）、各事業の効果を総合的に測る指標が設定できない場合は、「主な事業」ごとに設定する事業指標の中から代表的なものを施策指標として設定。				7
	ネットワーク会議に参画している機関数							
創業支援等事業計画に基づく 創業者支援	特定創業証明書発行件数 国認定の創業支援等事業計画に位置付けた『特定創業支援等事業』を受けた者に対する証明書の発行件数	10	13					23
創業者の販路拡大（各種展示会・商談会等への出展、製品PRツール制作等）を支援	補助件数 創業者に対する市補助金の交付件数	10	12					22

事業費推移

予算額	千円	1,000	1,000	2,000
決算額	千円	500	600	1100

※「主な事業」に要した事業費を計上

施策に対する評価と今後の方向性

区分	R 3 (策定年度)	R 4						
担当課 コメント	旧評価シートに基づく 評価コメントを記載							
ワーキング コメント	旧評価シートに基づく 評価コメントを記載							
産業活性化推進委員会 コメント	旧評価シートに基づく 評価コメントを記載							
評価	拡充 現状のまま 継続 改善して継続 縮小 休止/廃止 その他	拡充 現状のまま 継続 改善して継続 縮小 休止/廃止 その他	拡充 現状のまま 継続 改善して継続 縮小 休止/廃止 その他	拡充 現状のまま 継続 改善して継続 縮小 休止/廃止 その他	拡充 現状のまま 継続 改善して継続 縮小 休止/廃止 その他	拡充 現状のまま 継続 改善して継続 縮小 休止/廃止 その他	拡充 現状のまま 継続 改善して継続 縮小 休止/廃止 その他	拡充 現状のまま 継続 改善して継続 縮小 休止/廃止 その他

○上記の内容を総合的に勘案し、基本施策の実施・実現に向けて、現状を評価。

記載例

例 1）施策指標が十分に達成できているため、現事業を継続する。これに加えて、○○（基本施策のうち事業化できていないもの等）の施策化に向けて事業内容を検討・設計する。
例 2）事業指標の上昇に対し、施策指標が下降傾向にあるため、○○事業は縮小・廃止する。一方で、○○（基本施策のうち事業化できていないもの等）の実現に向けて、新たに○○事業に着手する。